

## 梅園町会

## 事業名 菜の花プロジェクト（2年目）

【目的】 中山間地域の大きな課題である耕作放棄地の対応として、菜の花畑にすることで維持管理し、草刈りの時間、労力、費用等を減少させ、鳥獣害の対応も図ります。

【事業成果】 耕作放棄地に菜の花の種を蒔いたことで、雑草の草刈り等に費す時間と労力が減少しました。

### 【事業内容】

#### ○6月1日（土） 種取り共同作業通知配布

畑で収穫した菜の花の種取りを、希望者で行うことの通知を配付しました。

#### ○6月21日（日） 種取り共同作業開催

小・中学生を含む15名が集合し、種取りの方法等の説明を聞いた後、開始しました。長雨で茎がやや湿っていましたが、刈り取りをし、一箇所に集め、種を叩き落としました。篩ふるいいにかけて種を取り出し、収穫した種を分けあいました。2年目で、参加者が慣れていたせいか、協力し効率よくできました。最後にお茶を飲み、楽しく和気あいあいのうちに終了しました。



## ○7月～9月 草刈り、耕し

草刈り刃と燃料を購入して希望者15名に配布しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各自で草刈り等を行い、耕作放棄地の維持管理を行いました。

## ○9月29日（日） 肥料等配付

購入した肥料等を配付しました

## ○10月 各自で種蒔き実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各自で個人の耕作放棄地の草を刈り、トラクターで耕した後、肥料を施し、種を蒔きました。

## ○2月21日（日） 反省会開催

今年度、菜の花を耕作した人が集まり、活動の成果と課題を話し合い確認し、次年度の活動の参考にしました。併せて、次年度のおおまかな活動計画も立てました。



山から見下ろした梅園の春です。黄色いジュウタンが菜の花畑です。昨年度の様子です。梅園は、市の北西部に位置する、47世帯、144人が仲良く暮らす、自然豊かな山村です。





## ○菜の花プロジェクト実施に至る経緯について

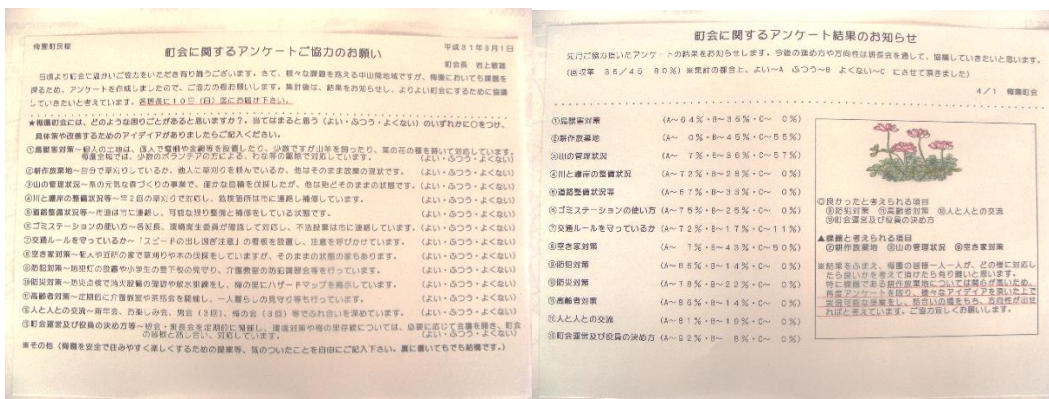
地権者が高齢化し草刈りができないことが主な原因で、そのまま放置された状態の田畑が多くあります。このまま見過ごすと、交通事故、鳥獣害、ゴミ、火災、不審者等の様々な問題が発生します。



そこで、アンケート実施を実施しました。

～中山間地域は、このままでよいのだろうか？～

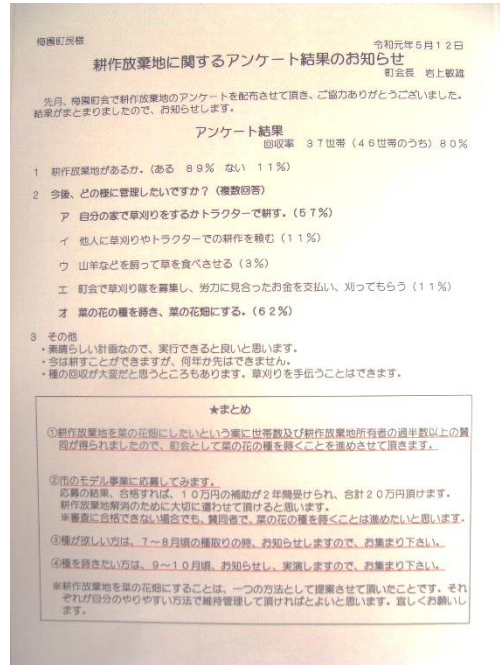
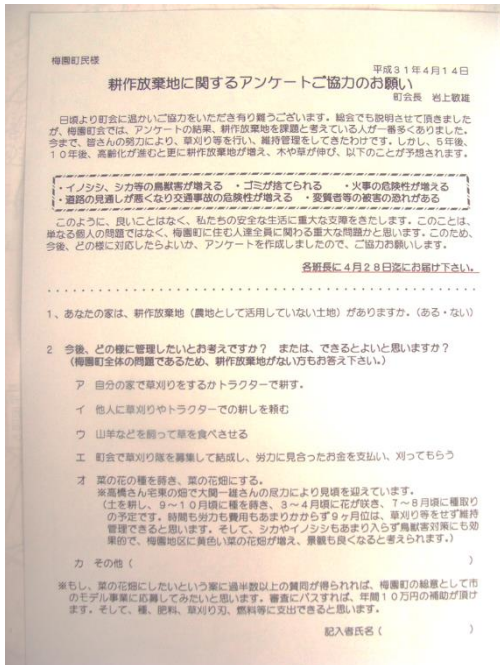
このため、中山間地域である梅園の課題を探るため、アンケートの原案を作成し、班長会で図りました。主に、山、耕作放棄地、鳥獣害、道路河川、コミュニティ等、13項目に整理し、アンケートを作成し、実施しました。



結果は、山の荒廃と耕作放棄地の維持管理に困っている問題が、大きく浮かび上がってきました。

# ～荒れた田畑をどうしたらよいだろうか？～

## 耕作放棄地アンケート



私たちの生活に直結する大きな問題である、耕作放棄地の維持管理に特化したアンケートを作成しました。今後、各自、どのように管理したいか、できるかを町会のみなさんに聞きました。その結果、一番多かったのは、菜の花畑にしたいということでした。これは、前年度、実験的に耕作した農家さんからの提案でした。理由は鳥獣害対策になる、景観も良い、10月に種をまけば翌年4月に花が咲き6月に種が採れるので、7～9月までの3ヶ月間の草刈りのみの管理で済むということでした。費用も労力も少ないことが最大の利点です。このようにして菜の花プロジェクトは、始まりました。菜の花プロジェクトによって、畑の周りの畦道を散歩する人が増えてきました。



